



Facebook



ホームページ

編集・発行 丸亀市国際交流協会

〒763-8501 丸亀市大手町二丁目3番1号 TEL (0877)56-1771 / FAX(0877)24-8860

メール: mkokusaikoryu-561771@mountain.ocn.ne.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/marugameinternational>

ホームページ: <http://mkokusaikoryu-561771.jimdo.com/>

友好都市張家港市への訪問

丸亀市の中学生5名と引率3名で構成された「丸亀市中学生親善使節団」が7月28日から8月1日までの間、友好都市の中国・張家港市を訪問しました。

中学生は滞在中、市内の家庭でホームステイを体験、また使節団は張家港市第二中学校を訪問し、現地の中学生との交流を深めました。交流会では、みんなで一緒に紙飛行機を作ったり、日本でも中国でも人気のある歌と一緒に合唱したりしてお互いの友情を深めることができました。ホストファミリーとの別れの際には涙する姿も見られましたが、再会を固く誓い合い、使節団一行は張家港市を後にしました。凝縮された数日間でも多くの経験を得て成長した中学生の皆さんの、今後の活躍を祈っています。

また、10月28日から31日までの間、梶市長をはじめとする「丸亀市代表団」が張家港市を訪問、友好都市締結20周年記念式典に参加しました。記念式典には多くの関係者が出席し、友好都市交流の20年の節目を盛大に祝うとともに今後の友好交流のさらなる発展を願いました。式典後には、両市の友好関係に益々の美しい花が咲くことを願って、桜の木を記念植樹しました。

丸亀市中学生親善使節団と丸亀市代表団を受け入れてくださった張家港市の皆様及び関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。非常感謝!



丸亀市中学生親善使節団

第二中学校の生徒との交流風景(紙飛行機づくり)



丸亀市代表団

式典後に張家港市関係者と記念撮影

国際交流バスツアー

日本人と外国人と一緒に防災を学べる機会を提供することを目的に、6月23日と11月10日に国際交流バスツアーを開催しました。

6月23日には7か国（日本、インドネシア、韓国、ニュージーランド、ペルー、中国、ベトナム）21名で香川県防災センターを見学。地震、暴風体験や火災発生時の避難訓練、消火器訓練などを通して防災についての知識を深めました。その後、クリントピア丸亀でサンドブラスト体験と、ごみ処理施設の見学も行いました。

11月10日には6か国18名（日本、ニュージーランド、ペルー、中国、ベトナム、フィリピン）が参加し、丸亀南消防署、レグザムボールパーク丸亀と丸亀北消防署を見学しました。消防署では、ポンプ車、救急車、はしご車などの緊急車両についての説明を受けたり、実際に車両の中を見せてもらったりしました。加えて心肺蘇生法やAEDの使い方を学びましたが、参加者が熱心に訓練を受ける様子はとても頼もしく、いざという時に助ける側になれるだろうと期待が高まる一場面でした。

また、大規模災害時の避難場所となっているレグザムボールパーク丸亀では、災害時に活用できる簡易トイレの施設や、備蓄倉庫などを見学。ボールパークからの移動時には、学校やコミュニティセンターの前にあるピクトグラムをチェックしました。国によっては、避難所のあり方が日本と違う場合もあるため、大変有意義な学習となりました。

こうした防災学習や訓練は、繰り返し経験して、身につけることが大切ですので、今後も継続していきたいと考えています。



香川県防災センター
地震体験コーナーで震度2~7の揺れを体験

多文化交流事業

令和元年度は多文化交流事業として、丸亀お城まつり総おどり大会への参加、日本語教室修了パーティー、異文化理解のための料理教室などを開催しました。

料理教室は日本以外の国の料理を紹介することが多いのですが、2月9日には外国人の皆さんからのリクエストに応じて、日本の家庭料理の教室を開催しました。お弁当のおかずにもすることができるオムライス、照り焼きチキンと牛肉とごぼうのしぐれ煮をみんなで一緒に調理しましたが、外国人参加者は日本人参加者にサポートしてもらいながら、熱心に作り方を覚えていました。ある外国人参加者は後日、自分ひとりで作ってみました、と料理の写真を送ってきてくれました。

次ページに紹介するのは、12月に開催した国際交流クッキングで調理したモンゴルの揚げ餃子「ホーショール」のレシピです。ご家庭にある材料で作ることができますので、ぜひ作ってみてください。



お城まつり総おどり大会



「日本のお弁当おかず」教室の様子

国際交流クッキング レシピ紹介

ホーショール（モンゴルの揚げ餃子）

【材料（約4人分：10cmぐらいの大きさ12個）】

《生地》 小麦粉 250g / 水 100ml

《具材》 ひき肉 200g（合挽でも牛肉でもOK。モンゴルでは羊肉を使うことが多い。）
玉ねぎ 1/2個 / ニンニク 1片 / 塩 小さじ強 / コショウ 少々
揚げ油（サラダオイル）

【作り方】

1. ボウルに小麦粉と水を入れて混ぜる（水を足して調節）。
2. 生地にラップをして15分ほど寝かす。
3. ひき肉、みじん切りにした玉ねぎとニンニクに塩、コショウ、水大さじ1を加えよく混ぜる。
4. 生地を3つに分け、そこから丸い玉を12個作る。
5. 打ち粉をして、麺棒で薄く丸く伸ばす（15cmぐらいの長さにする）。
6. 具材を生地の半分に平らに置く。
7. 生地を折り、空気を抜きながら、ふちを押し付けて形を作る。
8. 180℃の油で両面がきつね色になるまで揚げたら、できあがり。



ホーショール（モンゴル語 хүүшүүр）はモンゴル料理のひとつで、小麦粉を練った生地でひき肉やたたき肉などを包んで揚げたもの。家庭でもよく作りますが、モンゴルの食堂や、毎年7月にある「ナーダム祭」というお祭りの屋台などでも売られます。羊肉や牛肉を使うことが一般的で、シンプルな味付けのホーショールはモンゴル人にとっても愛されています。

その他の活動

丸亀市国際交流協会では、市民の皆さんに海外の国や文化に興味を持ってもらうため、姉妹都市・友好都市交流事業や多文化交流事業を行っていますが、その他にも外国人住民のための受入環境整備事業を行っています。日本語教室はその代表的なものですが、市役所の手続きをはじめとする外国人相談業務も、時代の流れとともになくてはならないものになってきました。現在、協会に対応可能な言語は英語、スペイン語、中国語と「やさしい日本語（外国人が分かるようにわかりやすい表現を使った日本語）」ですが、令和2年度からは多言語翻訳機も使用し、さらに相談体制を充実させていきたいと考えています。

国や言葉、文化が違う人たちとの交流、共生は興味深く、楽しいことがたくさんあります。しかし、物事にはいつも二つの側面があり、良いことばかりというものでもありません。お互いに知らないことがあるがゆえに大変なことが多いのも事実です。私たちは今後とも、丸亀市に住む人たちが、国籍、文化などの違いに関係なく、安心して暮らせる環境づくりに貢献してきたいと考えています。

令和2年度丸亀市国際交流協会事業予定

4月	・外国人のための「日本語水曜教室」前期（4月～9月） ・外国人のための「にほんご日曜教室」（4月～3月） ・外国人のための相談業務（4月～3月） 【英語、スペイン語、中国語、やさしい日本語／その他言語（多言語翻訳機使用）】
5月	・国際交流防災バスツアー
6月	・理事会及び運営委員会開催 ・異文化理解講座
7月	・丸亀市中学生親善使節団サンセバスティアン市派遣
8月	・異文化理解講座
9月	・日本語教室前期修了パーティー
10月	・外国人のための「日本語水曜教室」後期（10月～3月）
11月	・国際交流防災バスツアー
12月	・国際交流クッキング（丸亀ユネスコ協会との共同開催事業）
1～2月	・異文化理解講座 ・丸亀市国際交流協会パネル展
3月	・協会誌フロンティア発行

※協会の行事などに関するお知らせは、ホームページ及びFacebookでご覧いただけます。

※上記予定の内容・期日は変更になる場合があります。（会員の皆様には別途お知らせします。）

※団体等の要請に応じ、外国人技能実習生等への生活習慣指導（ごみの分別についての説明など）を行います。

※要望に応じ、丸亀市の外国人事務などについての出張講座を行います。

☆丸亀市国際交流協会への入会ご案内☆

丸亀市国際交流協会では協会会員を随時募集しています。協会の活動に賛同していただける方であれば、どなたでも入会可能です。入会希望の方は電話かメールでお問い合わせください。